

上映企画

逝ける映画人を偲んで 2023-2024

In Memory of Film Figures We Lost in 2023-2024

2025年12月9日(火)-26日(金)、2026年2月10日(火)-3月22日(日)

@国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU[2階]

日本映画の輝かしい歴史を築き、惜しまれながら逝去された映画人の方々を、故人が関わった映画作品の上映を通じて追悼する企画「逝ける映画人を偲んで」。今回は、2023年1月1日から2024年12月31日の間に逝去された80名以上の方々を追悼対象として、84作品(60プログラム)を上映し、それぞれの業績を回顧・顕彰します。

小沼勝、中島貞夫、山際永三、福間健二ら独自の映画文法で忘がたい作品を遺した監督たち、久里洋二、田名網敬一、武田純一郎らアニメーション、実験映画、科学映画の分野で偉大な足跡を刻んだ作家たち、千葉一彦(美術)、井川徳道(美術)、白鳥あかね(記録、脚本)、小池直実(装飾)ら作品の世界観の構築に貢献した映画スタッフたち、久我美子、犬塚弘、丘さとみ、寺田農、財津一郎、奈良岡朋子、西田敏行、火野正平、中山美穂ら唯一無二の輝きを放った俳優たち――。

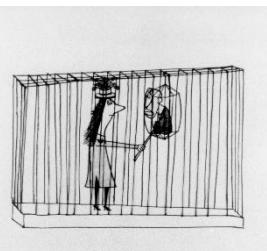
ゆかりの方々、そして映画ファンの皆様にも広くお知らせしたく、ぜひご紹介いただけますと幸いです。



『ロケーション』



『魔界転生』



『人間動物園』



『Sweet Friday』 ©Keiichi Tanaami

本特集で追悼する方々と上映作品 (五十音順)

赤塚真人(俳優)	はらから 同胞(1975)	榎望 (プロデューサー・脚本)	東京上空いらっしゃいませ(1990)
阿部秀司 (プロデューサー)	Love Letter(1995)	大山のぶ代(声優)	ドラえもん のび太と鉄人兵团(1986)
阿部壽美子(俳優)	慟哭(1952)	丘さとみ(俳優)	いれずみ半太郎(1963)
飯塚定雄(光学作画)	三大怪獣 地球最大の決戦(1964)	岡瀬晶彦(音響効果)	死に花(2004)
井川徳道(美術)	強虫女と弱虫男(1968)	尾関龍生(装飾)	いつか どこかで(1991)
	魔界転生(1981)	小原乃梨子(声優)	ドラえもん のび太と鉄人兵团(1986)
石川義寛(脚本)	東海道四谷怪談(1959)	掛札昌裕(脚本)	女生きてます 盛り場渡り鳥(1972)
井手洋子(監督)	ショージとタカオ(2010)	柏原満(音響効果)	ドラえもん のび太と鉄人兵团(1986)
伊藤孝雄(俳優)	妻二人(1967)	勝部義夫(俳優)	三大怪獣 地球最大の決戦(1964)
稻垣美穂子(俳優)	打倒 KNOCK DOWN(1960)	河東けい(俳優)	無常(1970)
犬塚弘(俳優)	若い季節(1962)	加茂さくら(俳優)	橋のない川(1992)
	魔界転生(1981)	唐十郎 (劇作家・俳優)	好色源平絵巻(1977)
	渋滞(1991)		日本暗殺秘録(1969)
上野山功一(俳優)	ハイティーンやくざ(1962)	川本征平 (アニメーション美術)	ドラえもん のび太と鉄人兵团(1986)

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のスチール写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室:金) MAIL:pr@nfaj.go.jp TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830

久我美子（俳優）	億万長者（1954）	佐々木志郎（プロデューサー）	さすらいの恋人 眩暈（1978）
	挽歌（1957）	薩摩剣八郎（スーツアクター）	ゴジラ VS キングギドラ（1991）
	119（1994）	生野慈朗（監督）	いこかもどろか（1988）
久保新二（俳優）	絶倫!! 好色一代〔『ニッポンの猥褻』改題版〕（1993）		わたしの SEX 白書 絶頂度（1976）
	人間動物園（1961）	白鳥あかね（記録・脚本）	いこかもどろか（1988）
	LOVE（愛）（1963）		渋滞（1991）
	THE BUTTON（ザ・ボタン）（1964）		Love Letter（1995）
	アオス／AOS（1964）	鈴木歎（編集）	われに撃つ用意あり READY TO SHOOT（1990）
	SAMURAI／侍（1965）	鈴木桂子（記録）	三大怪獣 地球最大の決戦（1964）
	FLOWER（花）（1967）	鈴木瑞穂（俳優）	月山（1979）
	The ROOM（部屋）（1967）		魔界転生（1981）
久里洋二 (アニメーション作家)	WHAT DO YOU THINK?／あなたは何を考えているの?（1967）	園まり（俳優）	夢は夜ひらく（1967）
	AU FOU!（オー・フー！／殺人狂時代） [カラー版]（1967）	大工原正泰（脚本）	さすらいの恋人 眩暈（1978）
	二匹のサンマ [カラー版]（1968）	高橋章（美術）	鉄拳（1990）
	THE MIDNIGHT PARASITES／寄生虫の一夜（1972）	高山由紀子（脚本）	月山（1979）
	LIVING ON THE BOUGHS（木の上の生活）（1974）	武田純一郎（科学映像作家）	染色体に書かれたネズミの歴史（1975）
	POP（ポップ）（1974）		たまごからヒトへ（1976）
	MANGA（漫画）（1977）		あなたのふしぎ（1978）
		竹山洋（脚本）	うれしあはしあし物語（1988）
		龍村仁（監督）	地球交響曲 GAIA SYMPHONY（1992）
			Commercial War（1971）
			Artificial Paradise／人工の楽園（1975）
			Crayon Angel（1975）
		田名網敬一（アーティスト）	Sweet Friday／優しい金曜日（1975）
小池直実（装飾）	ロケーション（1984）		WHY（1975）
	東京上空いらっしゃいませ（1990）		4 EYES（1975）
			闇の記憶・夢の陰影（2000）
			風の呼吸（アニメーションによる往復書簡）（2001）
			人間動物園（1961）
小沼勝（監督）	おトラさんのお化け騒動（1958）	谷川俊太郎（詩人）	LOVE（愛）（1963）
	児玉謙次（俳優）		WHAT DO YOU THINK?／あなたは何を考えているの?（1967）
	薔薇の葬列（1969）		行き止まりの挽歌 ブレイクアウト（1988）
	生贊夫人（1974）	団時朗（俳優）	ハイティーンやくざ（1962）
	さすらいの恋人 眩暈（1978）		魔界転生（1981）
財津一郎（俳優）	妻たちの性体験 夫の眼の前で、今…（1980）		
	見せたがる女（1981）		
	女生きてます 盛り場渡り鳥（1972）		
	原色の蝶は見ていた（1978）		
坂本長利（俳優）	薔薇の葬列（1969）		
	生贊夫人（1974）		
	さすらいの恋人 眩暈（1978）		
坂本龍一（音楽）	戦場のメリークリスマス（1983）		

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のスタイル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ（上映室：金） MAIL:pr@nfaj.go.jp TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830

寺田農 (俳優)	無常 (1970)	深尾道典 (脚本)	好色源平絵巻 (1977)
	うれしひはずかし物語 (1988)		急にたどりついてしまう (1995)
	橋のない川 (1992)		絶倫海女 しまり貝 (1985)
中尾彬 (俳優)	本陣殺人事件 (1975)	冬木透 (音楽)	無常 (1970)
仲倉重郎 (監督)	きつね (1983)	間宮芳生 (音楽)	火垂るの墓 (1988)
中島貞夫 (監督)	くノ一化粧 (1964)	三谷昇 (俳優)	魔界転生 (1981)
	日本暗殺秘録 (1969)		黒い雨 (1989)
	鉄砲玉の美学 (1973)	村瀬繼藏 (造形)	三大怪獣 地球最大の決戦 (1964)
中真千子 (俳優)	若い季節 (1962)	山際永三 (監督)	狂熱の果て (1961)
中村メイコ (俳優)	女生きてます 盛り場渡り鳥 (1972)	山田太一 (脚本)	あこがれ (1966)
中村靖日 (俳優)	死に花 (2004)	山田昌 (俳優)	黒い雨 (1989)
中山美穂 (俳優)	Love Letter (1995)	山田好男 (衣装・装飾・美術)	12人の優しい日本人 (1991)
奈良岡朋子 (俳優)	翔ベイカロスの翼 (1980)	山本二三 (アニメーション美術)	火垂るの墓 (1988)
西田敏行 (俳優)	ロケーション (1984)	山本陽子 (俳優)	夢は夜ひらく (1967)
沼田爆 (俳優)	見せたがる女 (1981)	湯浅譲二 (音楽)	薔薇の葬列 (1969)
橋爪謙始 (画コンテ)	学校の怪談 4 (1999)	弓恵子 (俳優)	くノ一化粧 (1964)
花ノ本寿 (俳優)	無常 (1970)	PANTA (音楽)	鉄砲玉の美学 (1973)
火野正平 (俳優)	原色の蝶は見ていた (1978)		



『億万長者』



『生贋夫人』



『鉄砲玉の美学』

開催概要



企画名：逝ける映画人を偲んで 2023-2024

(英語タイトル：In Memory of Film Figures We Lost in 2023-2024)

会期：

[第1期] 2025年12月9日 (火) – 26日 (金)

[第2期] 2026年2月10日 (火) – 3月22日 (日) ※月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]

H P : <https://www.nfaj.go.jp/film-program/yukeru202512/>

問合せ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

チケット：詳細はHPをご確認ください。